



～バンダイこどもアンケートレポート Vol.8
**「お子様のしている習い事、
将来やらせたい習い事は何ですか？」**
自分の願いを子に託す親心は、今も変わらず

この調査は雑誌誌上で当社が行っている、アンケート付きプレゼント企画への回答をまとめたものです。保護者の方を対象にしたこどもに関する設問で、月1回の調査を行っています。質問内容は玩具に限定することなく、広い視野からこどもたちの生活に密着した生の声をまとめ、現代のこどもたちの実態をバンダイ流に解きあかしていこうと考えています。

【調査概要】

調査方法：雑誌広告でのアンケート付プレゼント企画によりハガキで募集。

実施時期：1995年10月

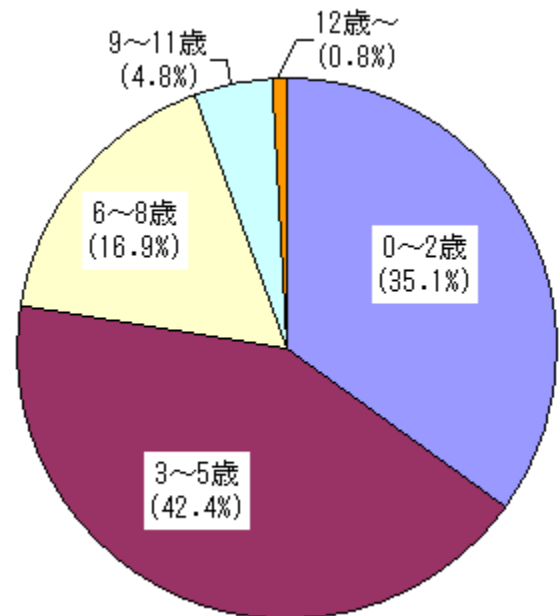
質問内容：お子様のしている習い事、これからやらせたい習い事は何ですか？

有効回答数：2668件（1788人）

男女総計 2668件（1788人）

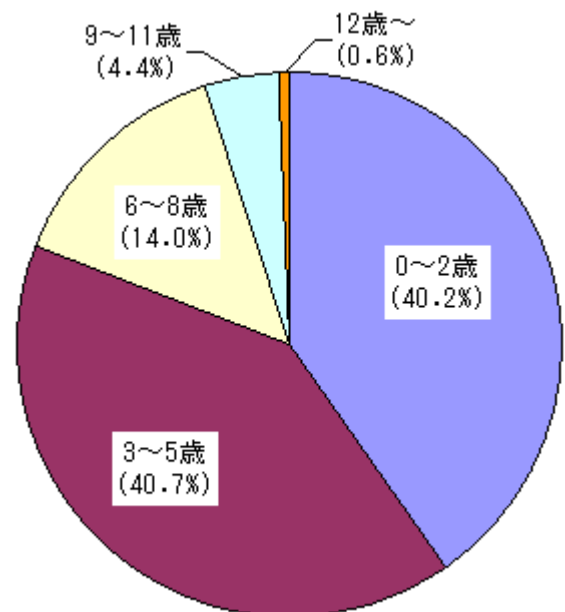
★男 児★

年齢内訳	0～2歳	357人
	3～5歳	431人
	6～8歳	172人
	9～11歳	49人
	12歳～	8人
	<hr/>	
	計	1017人



★女 児★

年齢内訳	0～2歳	310人
	3～5歳	314人
	6～8歳	108人
	9～11歳	34人
	12歳～	5人
	<hr/>	
	計	771人



＜男女別総合ランキング＞

★男児総合

	習っていること	総数 1017 人
1	水泳	22.1%
2	音楽*	6.7%
3	習字	6.0%
4	英語	4.6%
5	サッカー	3.9%
5	体操教室	3.9%
7	学習塾	2.5%
8	空手	2.2%
9	そろばん	2.1%
10	剣道	1.4%

	将来習わせたいこと	総数 1017 人
1	水泳	20.4%
2	習字	14.5%
3	音楽*	11.0%
4	英語	8.8%
5	そろばん	4.5%
6	サッカー	3.9%
7	空手	3.4%
8	剣道	2.7%
9	スポーツ	2.5%
10	望むものなら何でも	2.2%

☆女児総合

	習っていること	総数 771 人
1	音楽*	26.5%
2	水泳	18.0%
3	習字	7.5%
4	英語	5.2%
5	バレエ	3.9%
5	学習塾	3.9%
7	そろばん	2.2%
8	体操教室	2.1%
9	リズム体操	1.4%
9	絵画	1.4%

	将来習わせたいこと	総数 771 人
1	音楽*	25.7%
2	習字	11.2%
3	水泳	10.8%
4	英語	5.4%
5	バレエ	5.3%
6	そろばん	4.3%
7	ダンス	1.7%
8	体操教室	1.3%
9	絵画	1.2%
10	望むものなら何でも	1.0%

⇒男女共に「音楽*」はピアノ、エレクトーン、バイオリン、リトミック、音楽教室など

*「習わせたい事」の少数意見中に男児でミニバイク、パソコン、などの時代性を感じさせるもの、女児ではお花、日本舞踊などの伝統的なものから、乗馬、ゴルフなど“お嬢様らしい”ものが見られました。

*「望むものなら何でも」とは言いながらも、実際に習っていることのベスト10の主な選考理由は『実用性』が重視されており、結局「習わせてしまう」現実、そんな親の側の悩みも垣間見えてくるようです。

★ アンケート結果より ★

★男の子はたくましく、女の子は優雅に・・・

現在習っている事、これから習わせたい事とも1位は男児が「水泳」、女児は「音楽」です。やはり男児は健康にたくましく育てほしいという親の願いが強いようで、このほか「サッカー」「剣道」「空手」が男児の上位に入っています。アンケート葉書を見ると「剣道」「空手」には体を丈夫にさせたいというだけでなく、将来の「いじめ対策」の意味を含んでいるところが昨今の世相を伺わせます。

女児の1位「音楽」ではピアノが圧倒的。また「バレエ」や「ダンス」など、いかにも女の子らしい習い事が上位に入っています。ちなみに「バレエ」には女の子らしく育てほしいという願いもありますが、母親自身が“小さい頃習いたくても習うことができなかったから”という動機も多いようです。

★習字と英語は男女共通

男女とも習っている事、習わせたい事に共通しているのが「習字」と「英語」です。

「習字」については“自分（親）の字が下手だから”“字がきれいだと賢く見える”という理由で支持されています。「英語」はこれからの国際社会を生き抜くために将来必要だからという理由で習っている、習わせたいようです。

★こどもは大忙し！

アンケート葉書によると、全く習い事をしていない、させる予定がないこどもはごく少数でした。また習い事をしている場合、数も2つ以上ということがほとんどで、「水泳と音楽」「水泳と習字」というように体育系と文科系のものをあわせるパターンが多いようです。2つ以上の習い事をするこどもも大変ですが、親の払う費用もばかにならないようで、出費を嘆く意見も多く見られました。

こうして見ているとこどもの習い事には親の意向が大きく反映しているようで、自分がやりたかったけどできなかった事、自分がやっておけばよかったと思っている事をこどもにやらせる・・・つまり自分の願望をこどもに託しているケースが少なからずあるようです。

※ このアンケートレポートに関して「子ども調査研究所・渡部尚美」さんから以下のコメントをいただいております。

幼児を持つ家庭がこどもに最も望むことは、「健康」と「情操」であることをこのデータは示しています。強い身体と豊かな心が、幸福に生きていくための基礎になると考える親心は今も昔も変わってはいないでしょう。

しかし、ほとんどのこどもが幼い頃から習い事をするようになったのは、最近のことです。核家族化の進行と近隣社会の相互扶助関係が希薄化し、現在の多くの親子は密閉度の高いマンションに個別に隔離されたような状態になってきています。そうした社会的な背景の中から母親の育児ノイローゼ等の問題が新しく生まれてきています。幼いこどもの習い事は、こどもの健康と豊かな情操を望む親の願いのあらわれであると同時に、親がこどもから一時的に解放される機会でもあることは見逃せないことです。

そして、こどもたちが常に大人の組み立てたスケジュールに管理されることに慣れてしまうことについても、大人は考える必要があるのではないのでしょうか。